

2020年2月17日(月) ハコラク3月号 掲載

医療の現場から『高気圧酸素治療とは～酸素の効能を最大限に生かす～』

青木 教郎 臨床工学技士(高気圧酸素治療専門技士)

高気圧酸素治療とは

「酸素の効能を最大限に生かす」

近年、糖尿病の患者さんが増えています。糖尿病の3大合併症として知られている腎症、網膜症、神経障害はいずれも細い血管の障害から起こる病気です。血管の障害により手や足など末梢の血流が低下することで、傷が治りにくくなります。最近このようなケースに対し従来の治療と併用して高気圧酸素治療を受ける方が多くなっています。

高気圧酸素治療とは、通常の大気圧よりも高い気圧環境の中で酸素を吸入することにより、血液中に酸素を溶かしこむことが唯一可能な治療です。血液の酸素量は、通常の10～15倍に増加し全身へと拡散します。末梢循環の改善、細菌の増殖抑制、血管の新生・発育を促す効果が

あるとされ、また、最近ではスポーツ選手の治療や疲労緩和など早期回復を目的として使用されるケースも増えていきます。

ただ注意しなければならぬこともあります。高濃度の酸素は、とても燃えやすく、万が一引火すると大爆発を起こしてし

まう可能性があります。特に発火物や可燃性がある物、静電気を起こす物は、絶対に持ち込めませんので医療機関の指示に従って治療を受けていただくことがとても重要です。また、治療時間は約1時間半と長いためテレビを視聴できる環境になっ

ていたり、透明なタイプの装置もあるので閉所恐怖症の方にも比較的配慮された設計になっています。

治療の際は気圧の変化により、耳が痛くなる事があります。が、唾を飲んだり、あくびをするなどの耳抜きと言われる動作をすることで緩和されます。専門スタッフが常におりしますので、安心して治療を受けていただくことができます。ほかにもさまざまな疾患に対する治療を行っています。気になる事がございましたら、一度医療機関などにご相談されてはいかがでしょうか。



函館中央病院

臨床工学技士 高気圧酸素治療専門技士

青木 教郎 さん



函館中央病院

函館市本町33-2

☎0138-52-1231(代)

<http://www.chubyo.com/>

■診療科目／

内科、消化器内科、腫瘍内科
循環器内科、小児科、外科
整形外科、形成外科
心臓血管外科、皮膚科
産婦人科、耳鼻咽喉科
歯科口腔外科など全26科目

■受付時間／

8:30～11:30、13:30～16:00

※土曜は午前のみ。診療科や
時間帯によっては要予約。

■休診日／日曜・祝日・年末年始

